



【先週のMESSAGEより】

## ヨセフとマリヤの従順

ルカ1:26~38、マタイ1:18~25

●救い主の誕生物語の中でとかくヨセフの影は薄くなりがちである。しかしマタイ、ルカのそれぞれの記録を並べて読んでいくなら、神が夫、妻のどちらか一方ではなく「夫婦」に対して「救い主を産み、育てる使命」を与えていたことが分かる。

●御使いはマリヤ、ヨセフに対してそれぞれ個別に現われた。ここに二人が一致できるようにとの神の配慮を見ることが出来る。マリヤは有名な「ほんとうに、私は主のはしためです。どうぞ、あなたのおことばどおりこの身になりますように。」という発言で彼女の従順を示し、ヨセフは「眠りからさめ、主の使いに命じられた通りにして、その妻を迎え入れ」と**不言実行**を持って同じように従順を示した。

●この話しを通し、神の御心を確かめる時の指標も得ることができる。ヨセフとマリヤの例に見られるように、二人以上の方が個別に神に何かを知らされ、それが一致している時に神が語っておられることが分かる。

私達も導きを必要としている時、友人に祈ってもらうことは大切である。そして自分以外にも神が同じことを語られており、一致した思いが与えられるか確認する習慣を付けていきたい。

【今週の英語】

●He is the reason for the season.

イエスこそクリスマスシーズンの理由（リーズン）である



Simone Martini - The Annunciation and Two Saints  
(1333, Tempera on wood, 184 x 210 cm)



## 【クリスマス・リースの意味】

●クリスマスが近づくと家々の玄関にリースが飾られるようになりますね。リースを飾ることはもともとはヨーロッパの風習でモミの木やヒイラギなどを輪形の台に固定し、赤いリボンなどで飾ったりして作られます。

●そもそもリースにはどんな意味があるのでしょうか。まずはヒイラギですが、葉にとげがあることからキリストのかぶられたいばらの冠を象徴し、その真紅の実はキリストの血、深緑の葉の色は、永遠のいのちを意味します。次に形



ですが、輪の形はとぎれることのない神の永遠の愛を象徴しています

●リースは待降節  
(クリスマスの4週間)

の頃からおもに玄関のドアなどに飾ら

れ、救い主キリストを各家庭に迎える準備とさ

れるのです。救い主キリストは今も生きておられ、皆様のご家庭にも罪の赦しと喜びと平安を与えたいと願っておられます。

黙示録3:20 見よ。わたしは、戸の外に立ってたたく。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところにはいって、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。

### 【今週の暗唱聖句】 IIコリント 8章9節

主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。

使徒パウロは同じ思想をペリピ2:6~8で次のように表現しています。

「キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることができないとは考えないで、自分を無にして、仕える者の姿をとり、人間と同じようになられたのです。キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。」

「富んでおられた」とはつまり神ご自身の栄光の姿と、全ての権威を持っておられたということです。「貧しくなられた」というのは、それらを全部捨てて、一人の無力な赤子になられたことを意味しています。「キリストの貧しさによって富む者となる」とはイエスが私たちの身代わりとなり、私たちの罪を背負って十字架の死にまで従われたことを通して、私たちのために世界中で最も大切な立場であり、最も富める立場、つまり「神の子」としての特権を回復して下さったことを意味しています。神の子は、やがて滅びるこの世の財産ではなく、永遠に残る「天の宝」を積む生き方へと招かれているのです。■